

安全データシート (SDS)

1 製品及び会社情報

製品の名称	
製品名	モノタロウ ビードクリーム(二輪車・乗用車用・速乾タイプ)
会社情報	
会社名	株式会社 MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町 2-183 リベル 3 階
担当者名	商品お問い合わせ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
整理番号	M180410

推奨用途及び使用上の制限

タイヤ用潤滑剤

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性
分類できない

健康に対する有害性

生殖毒性 区分 2
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分 1 (腎臓、肝臓)

環境に対する有害性

水生環境有害性 (急性) 区分 3

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険有害性情報

危険
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
腎臓、肝臓の障害
水生生物に有害

注意書き

[安全対策]

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

[応急措置] ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

[保管（貯蔵）] 施錠して保管すること。

[廃棄] 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性

製品の長期的な接触は、眼や皮膚に刺激を与える
多量に飲み込むと有害

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
腎臓、肝臓の障害

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲 (wt%)
グリセリン	56-81-5	2-242	-
ステアリン酸ナトリウム	822-16-2	2-611	3-5
水	7732-18-5	-	-
着色剤	-	-	-
ジエチレングリコール	111-46-6	2-415	10-12 (白)

4 応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合 新鮮な空気のある場所に移動させる。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 大量の水で洗うこと。汚染された衣服は脱ぐこと。痛みなどを感じた場合は、医師に連絡すること。

眼に入った場合 水で 15～20 分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合 無理に吐かせないこと。水で口をすすぎ、水と石鹼で皮

膚を洗う。直ちに医師の診断を受けること。

予想される急性症状

情報なし

遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5 火災時の措置

適切な消火剤

周辺火災に応じて水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用する。

使ってはならない消火剤

火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。

特有の危険有害性

火災等の場合は、毒性の強い分解生成物（二酸化炭素）が発生する可能性がある。

特有の消火方法

消火活動は風上から行う。

火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護具（「8 ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

適切な換気を行う。

漏出部は滑りやすくなっているため注意する。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

流出した場合はせき止める。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険でなければ漏れを止める。

吸着剤を用いて回収する、又は機械で収集して廃棄する。

取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8 ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

適切な換気を行うこと。

安全取扱注意事項

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

接触回避

混触危険物質

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策

保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。

混触禁止物質

強酸化剤

保管条件

直射日光を避け、乾燥した冷暗所に保管する。

通路や階段に置かないこと。

凍結や高温を避ける。

未開封の元の容器でのみ保管する。

通路や階段の壁面には保管しないこと。

容器包装材料

未開封の元の容器でのみ保管する。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない。

許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標）

ACGIH TLV

該当しない

日本産業衛生学会

該当しない

設備対策

取り扱いの場所の近くに、洗眼および身体洗浄剤のための設備を設ける。

高温下や、ミストが発生する場合は換気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

手に接触する恐れがある場合、保護手袋や保護クリームを使用する。

眼の保護具

眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用す

皮膚及び身体の保護具
 必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する。

9 物理的及び化学的性質

外観（物理化学的状態、形状、色など）	白色又は黄色のペースト状クリーム
臭い	微臭
臭いの閾値	情報なし
pH	6～8
融点・凝固点	情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	100℃
引火点	該当しない
蒸発速度	情報なし
燃焼性	不燃性
燃焼範囲の上限・下限	情報なし
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし
比重	1 g/cm ³
溶解度	水に可溶
n-オクタノール／水分配係数	情報なし
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし
粘度	情報なし
揮発性有機化合物	0%

10 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	通常の手扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	通常の手扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	凍結や高温（50℃以上、-4℃以下）を避ける。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	火災等の場合は、毒性の強い分解生成物（二酸化炭素）が発生する可能性がある。

11 有害性情報

製品の有害性情報

情報なし

成分の有害性情報

ステアリン酸ナトリウム

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性
 ウサギの試験で、一過性の軽度な結膜充血および角膜上皮の光学的不規則性が見られ、中等度の刺激性を示すとの報告がある。

ジエチレングリコール

急性毒性（経口）

ラット LD₅₀=15,600 mg/kg

急性毒性（経皮）

ウサギ LD₅₀=13,300 mg/kg

生殖毒性

マウスを用いた交配前からのばく露による2世代生殖試験において、同腹児数の減少に加え、脳ヘルニア、口蓋裂の頭蓋顔面奇形が観察された。口蓋裂はハムスターの妊娠8日目の腹腔内投与でも報告されている。これらの影響が現れた用量では、同時に母動物の体重減少、ハムスターでは死亡が見られ、即ち、親動物での一般毒性が発現する用量で明確な生殖毒性が報告されている。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

ラットの反復経口ばく露による特徴的な所見として、尿酸の排泄増加とともに尿中に尿酸カルシウム結晶が形成され、腎障害（ネフローゼ）が見られたと報告されている。ばく露が長期に及ぶと膀胱結石も観察され、また、腎臓に比べ軽度ながら肝障害の記述も一部にある。しかし、これらの影響はいずれもガイダンス値範囲のカットオフ値（100 mg/kg/day）を超えたかなり高用量における所見である。一方、ヒトでは本物質のばく露に関して複数の疫学調査が実施され、それらの結果によれば、多数の死亡例、進行性の腎障害と最終的に腎不全、一部の報告では肝障害が報告されている。

12 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	生分解性がある
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

成分の環境影響情報

ステアリン酸ナトリウム

水生環境急性有害性	甲殻類（オオミジンコ）48時間 EC ₅₀ =19 mg/L
水生環境慢性有害性	甲殻類（オオミジンコ）21日間 NOEC=0.48 mg/L
残留性・分解性	BODによる分解度：83%
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

ジェチレングリコール

水生環境急性有害性	魚類（ファットヘッドミノー）96時間 LC ₅₀ =75,200 mg/L
水生環境慢性有害性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし

オゾン層への有害性

該当しない

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送（ADR/RID の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

海上輸送（IMO の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
IBC コード	該当しない

航空輸送（ICAO/IATA の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
航空規制情報	該当しない

緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号

該当しない

特別の安全対策：

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15 適用法令

化学物質審査規制法	優先評価化学物質（飽和脂肪酸（C = 8～18、直鎖型）のナトリウム塩又は不飽和脂肪酸（C = 16～18、直鎖型）のナトリウム塩）
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物（ステアリン酸ナトリウム）（1重量%以上を含有する製剤その他の物） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（ステアリン酸ナトリウム）（1重量%以上を含有する製剤その他の物）
海洋汚染防止法	有害液体物質（Z類物質）（グリセリン、ジェチレングリコール）

16 その他の情報

参考文献

株式会社 MonotaRO 提供資料
NITE GHS 分類結果一覧（2017）

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253:2012 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。